

文部科学省作成 説明資料

平成27年2月26日
公物管理等分科会

マルチサポート事業について

【概要】

▶ 我が国のトップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援等について、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施

アスリート支援の実施

▶ 強化合宿や競技大会における動作分析、ゲーム分析、情報収集、栄養サポート、コンディショニングサポート、心理サポートなど、各分野の専門スタッフが、スポーツ医・科学、情報等を活用して、トップアスリートが試合に勝つために必要なサポートを実施。



研究開発の実施

▶ 我が国の科学技術を活かして、選手専用（テーラーメイド型）の競技用具やウェア、シューズ、日本人の弱点を強化するための専用トレーニング器具、コンディショニング、疲労回復方法等の研究開発を実施。



マルチサポート・ハウスの実施

▶ 大規模な国際競技大会において、競技直前の準備のために選手、コーチ、サポートスタッフが必要な機能（分析サポート、リカバリー・コンディショニング、コミュニケーション・リラックス、情報戦略）を選択できるサポート拠点を設置。

分析サポート

- 映像フィードバック
- 映像編集
- 簡易動作分析
- 結果集積・分析

リカバリー・コンディショニング

- 栄養補給
- リカバリープール
- メディカルスペース
- トレーニング、心理サポート

コミュニケーション・リラックス

- 選手・コーチ・スタッフのミーティング
- リラックス、リフレッシュスペース

情報戦略

- サポート内容のコーディネート
- 日本選手団との連携・調整
- 戦況分析・調査
- 現地と日本との連携・調整

第30回オリンピック競技大会（2012/ロンドン）
マルチサポート・ハウス



第22回オリンピック冬季競技大会（2014/ソチ）
マルチサポート・ハウス

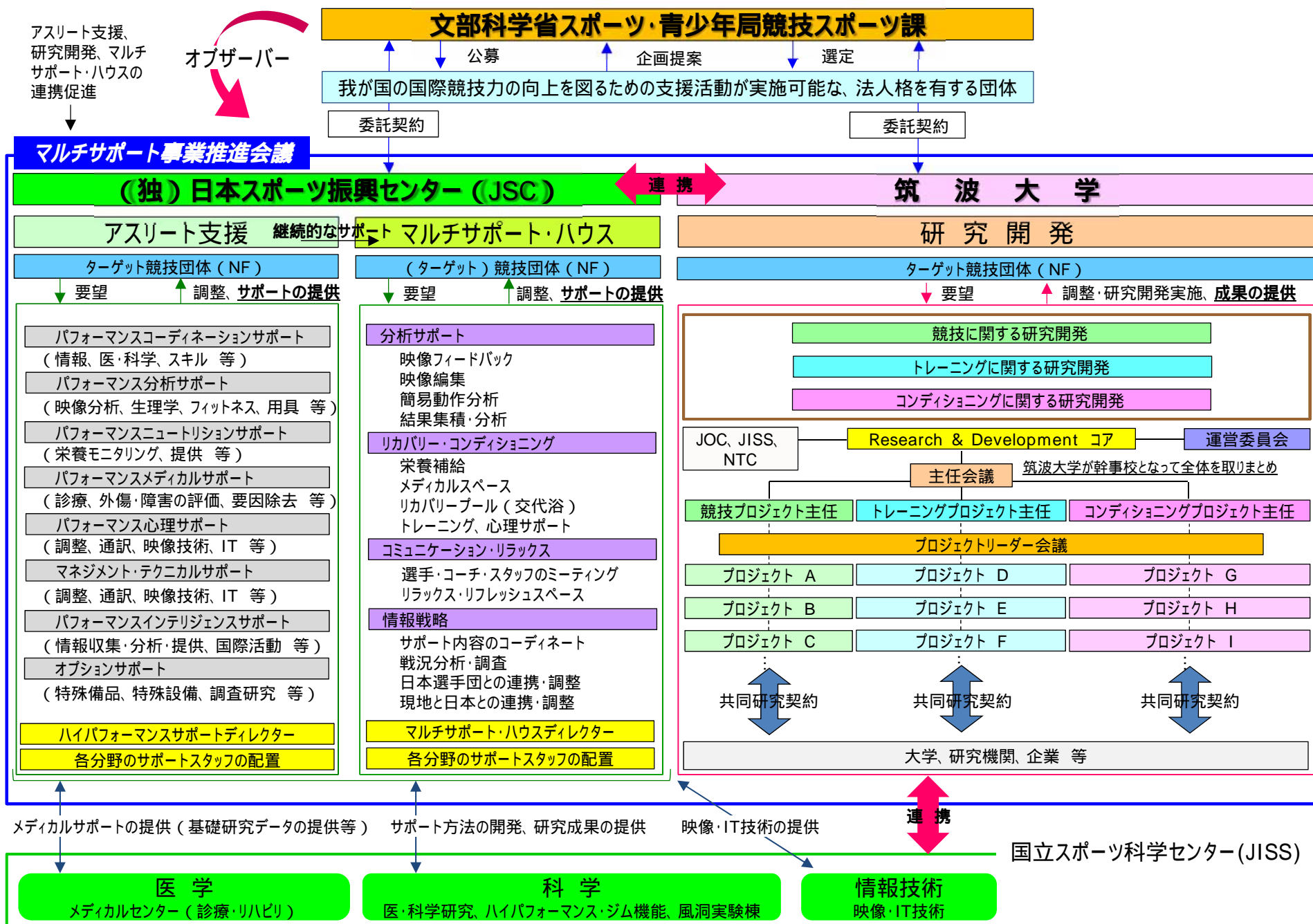


【予算額の推移】

年 度	平成20年度 (2008) [北京(夏季)]	平成21年度 (2009)	平成22年度 (2010) [バンクーバー(冬季)]	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012) [ロンドン(夏季)]	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014) [ソチ(冬季)]	平成27年度 (2015) 予定額
予 算 額	204,321	308,143	1,884,383	2,244,522	2,746,472	2,299,522	2,834,069	3,100,000

(千円)

事業実施体制のイメージ (平成26年度)



【事業内容と契約方式等の状況】

事業内容	(H20) ・マルチサポート・システムの構築 ・特別支援の実施(トライアル) 等 (H21) ・マルチサポート戦略本部の運営 ・研究開発プロジェクトの実施 ・諸外国調査の実施 ・特別支援の実施 等	(A)特別支援 ・マルチサポート事業実施計画の策定 ・特別支援の実施(戦略的・包括的な高度なサポート) ・マルチサポート・ハウスの設置 ・調査等 (B)研究開発	(A)アスリート支援等 ・アスリート支援の実施 ・マルチサポート・ハウス設置・運営に向けた調査 ・マルチサポート事業推進会議の設置・運営 (B)研究開発	(A)アスリート支援等 ・アスリート支援の実施 ・効果的なアスリート支援等のための調査研究 ・マルチサポート・ハウス設置・運営 ・効果的なマルチサポート・ハウス設置に向けた調査等 ・マルチサポート事業推進会議の設置・運営 (B)研究開発		
	H20(2008) [北京(夏季)]	H21(2009)	H22(2010) [バンクーバー(冬季)]	H23(2011)	H24(2012) [ロンドン(夏季)]	H25(2013)
委託先決定方法	一般競争入札(総合評価) (競争参加資格) 役務の提供A又はB (評価基準) 「経営基盤」、「参加スタッフの研究実績」、「組織の研究実績」などの必須要件等及び価格を点数化し、得点合計が最も高い者 <u>事業内容を一括して、1者と委託契約</u>	企画競争(競争性のある随意契約) (競争参加資格) 特になし (評価基準) 「人員・組織体制」、「実績」、「経営基盤」、「計画の実現性・妥当性・継続性」等を点数化し、得点合計が最も高い者 <u>平成23、24年度については、平成22年度の選定結果を基に随意契約</u>	企画競争(競争性のある随意契約) (競争参加資格) 特になし (評価基準) 「人員・組織体制」、「実績」、「経営基盤」、「計画の実現性・妥当性・継続性」等を点数化し、得点合計が最も高い者	企画競争(競争性のある随意契約) (競争参加資格) 特になし (評価基準) 「人員・組織体制」、「実績」、「経営基盤」、「計画の実現性・妥当性・継続性」等を点数化し、得点合計が最も高い者	一般競争入札(総合評価) (競争参加資格) 役務の提供A、B又はC (評価基準) 「計画の妥当性・効率性」、「財務基盤・経理能力」、「業務従事予定者の専門知識」などの必須要件等及び価格を点数化し、得点合計が最も高い者	
	改善に向けた取組	(調達方法の変更) 本事業を一括して実施することの困難さに鑑みて、「A 特別支援の実施等」、「B 研究開発プロジェクトの実施」に分割し、それぞれ企画競争を実施。「A 特別支援の実施等」の事業実施期間について、ロンドンオリンピックが開催される平成24(2012)年までの最長3年に設定	(理解促進のための工夫) これまでの事業で実施した「海外先進事例調査」結果及び今後の事業実施計画の構想である「サポート戦略構想」、事業実施体制のイメージ図を公募要領と併せて掲載	(応募者拡大に向けた工夫) ・「事業概要」、「ターゲット競技種目」、「アスリート支援の実績」、「マルチサポート・ハウスの前例(ロンドン)」を公募要領と併せて掲載 ・事業実施期間をリオデジャネイロオリンピックが開催される平成28(2016)年までの最長4年に設定	(応募者拡大に向けた工夫) ・競争参加資格の緩和(平成20、21年度との比較) ・過去の類似業務経験の必須要件からの除外(平成20、21年度との比較) ・「事業概要」、「事業の実施体制」、「ターゲット競技種別」、「アスリート支援の実績」、「マルチサポート・ハウスの前例(ロンドン、ソチ)」を公募要領と併せて掲載	

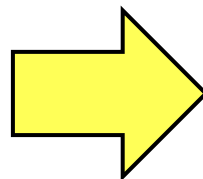
【競争性を高めるための主な課題点と見直し案】

専門性・確実性

本事業は、中央競技団体との緊密な連携を図りつつ、多方面から専門かつ高度な支援を行う必要があることから、一機関において事業目的を達成するための質の高い人材の確保や育成、関係機関とのネットワーク構築等が困難と捉えられているのではないかと

継続性

4年周期で開催されるオリンピックでのメダル獲得を目的とする事業であるにもかかわらず、毎年度競争を実施することにより、事業の継続性や質の向上等への期待が薄れ、応募への意欲が低下しているのではないかと



実施方法の多様化

責任の所在を明確化したコンソーシアム形式での競争参加、複数者による再委託も含めた事業の実施などの方法について、入札公告等で明示してはどうか

継続性等の確保

契約期間をオリンピック周期の最長4年とするなど、本事業の多様性、専門性、継続性等に配慮して実施期間を設定してはどうか